

全盲者でも使える  
スマートフォンの簡易マニュアル

## はじめに

---

このマニュアルは、アップル社製 iPhone・iPod touch・iPad を VoiceOver (ボイスオーバー) の音声サポートにより操作するためのものです。

視覚障害者でも、弱視者と全盲者では操作方法が異なります。弱視者の場合、見えやすさの担保のために画面の拡大や白黒反転などを使います。このため、彼らには大きい画面である iPad が利用に適すると考えられます。一方で全盲者の場合、音声サポートを必要とし、また操作スペースが極端に広くない方が利用しやすいと言えます。そこで、iPhone や iPod touch のように画面サイズが小さい方が使いやすいと思われます。本稿は、特に後者のような状況を想定して書かれました。特に、iPhone・iPod touch・iPad のヘルプページを参考に、1 操作 1 手順になるよう書き直しました。

VoiceOver を利用する場合、操作ジェスチャーが通常の操作と異なります。特筆すべきは、指で触れながら探す点にあります。iOS5 までは、VoiceOver には日本語特有の同音異義語の詳細読みがなかったため、テキスト入力時に適切な漢字を選択するのが困難でした。しかし、iOS6 にバージョンアップした際に、詳細読み機能が搭載され、適切な漢字を選択することが可能になりました。この他、iOS6 からは、拡大機能と VoiceOver の併用もしやすくなりました。まだまだ視覚障害者が利用する上では機能が完全に充足されてはいませんが、それでも情報取得ツールとして、早いスピードで進化していると言えます。本稿は元々、iOS5 を想定して書かれていました。しかし、以上のように iOS6 での更新点が重要であるため、大幅に加筆修正を行いました。本稿での内容は、iOS6.1.2 で再現可能であることを確認しています。しかし、iOS のアップデート頻度はかなり早いため、他のバージョンで一部適用できない箇所が発生するかも知れません。その場合は、この文書の作成者までお知らせ頂ければ幸甚の極みです。

2013年4月

筆者記す

# 目次

---

1. iPhone の外観説明
2. 晴眼者による VoiceOver の設定
3. iPhone の起動、スリープ解除、終了
4. iPhone の初期画面
5. VoiceOver を使いこなす上で、知っておきたいジェスチャー
6. iPhone のジェスチャーの練習
7. 時計アプリの起動と設定
8. Safari でインターネット
9. アプリケーションの検索
10. メールの送受信
11. pdf ファイルを読む
12. iCloud について

## iPhone とは

---

iPhone とは、2007 年 1 月に発表された Apple 社の〈スマートフォン〉です。それ以前に電子手帳として使われていた〈PDA〉の機能を内蔵した携帯電話端末で、同社の〈携帯音楽プレーヤー〉〈iPod〉の機能も内蔵しています。

〈OS〉は〈iOS〉というものを搭載しています。この OS は、同社の〈Mac OS X〉を携帯端末向けにカスタマイズしたものです。標準で〈Web ブラウザ〉の〈Safari〉、アドレスブック、カレンダー、メモ、地図ソフトなどが提供されています。この他、音声読み上げサポート機能、画面拡大／色反転機能といった視聴覚支援機能や、AssistiveTouch といった何らかの理由で二本以上の指で操作できない者をサポートする機能が搭載されています。

筐体サイズは概ね手のひらサイズで、前面に〈タッチパネル〉兼〈液晶ディスプレイ〉を備えています。この前面パネルがタッチ入力を取得しつつも、視覚表示をも行うという構成になっています。大きさは iPhone4S の段階で、高さ 115mm×幅 61mm×厚さ 11.6mm、重さ 135g でディスプレイサイズが 3.5 インチ（解像度：320×480〈ピクセル〉）でした。現行で最新である iPhone5 では、縦 123.8mm×横 58.6mm×厚さ 7.6mm、重さ 112g でディスプレイサイズが 4 インチ（解像度：1136×640〈ピクセル〉）になり、表示領域の広域化と高精細化を両立しながらも、軽量化されています。〈記憶装置〉は内蔵〈フラッシュメモリ〉で、センサーで筐体の向きを検知して縦横を自動的に切り替える機能も備えています。周囲の明るさを検知するセンサーも備え、画面の輝度を最も見やすい値に自動的に調整することも出来ます。

筐体には、〈ホームボタン〉と音量ボタン、トグルスイッチ以外に、入力ボタン類はなく、ほとんどの操作はタッチパネルを使って画面に指を触れることで行います。例えば、文字を入力する場合は、画面上にソフトウェアキーボードを表示させ、これで入力します。

## 1. iPhone の外観説明

---

iPhone は、通常の携帯電話と同様に、表面にいくつかのボタンとコネクタがあります。

### 1. ホームボタンとスリープボタン

ディスプレイ（またはスクリーン）のある側（表側）には、下部に丸いボタン（ホームボタン）があります。ホームボタンを押すと、ホーム画面（起動時の最初に表示される画面、Windows で言うデスクトップ画面）に戻ります。困ったときにこのボタンを押せば、大抵の場合は何とかなるでしょう。また、上部右側に細長いボタン（スリープボタン）があります。スリープボタンを押すと、待機状態（スリープモード）と起動状態の切替が出来ます。

### 2. ヘッドセットジャックと音量調整ボタン

ヘッドセットジャックは iPhone4 および 4S では左上側面、iPhone5、iPod Touch では左下にあります。ボリュームボタン(上ボタンが音量 up、下ボタンが音量 down)は iPhone、iPod Touch とともに左側側面にあります。iPhone の場合、ボリュームボタンの上に上下切り替えスイッチ（マナーモードスイッチ）があります。奥側に切り替えるとマナーモード（振動後）、手前側にするとマナーモード解除になります。なお、iPad の場合、ボリュームと切り替えスイッチが右側面にあります。iPad の切り替えスイッチは消音か否かを切り替えられます（設定画面から、画面回転の切り替えに割り当てることがも可能です）。

### 3. Dock コネクタ もしくは Thunderbolt コネクタ

下部側面には Dock コネクタ（iPhone5 以降は Thunderbolt コネクタ）があります。充電する場合や、パソコンと繋げてデータをやり取りする場合に、このコネクタを使用します。

### 4. カメラとマイク

カメラのレンズは、ディスプレイのない側（裏側）の左側上部にあります。スリープボタンの裏側にあると考えれば良いでしょう。マイクは下の方の側面にあります。Dock コネクタまたは Thunderbolt コネクタの横にあります。

## 2. 晴眼者による VoiceOver の設定

---

iPhone、iPod Touch、iPad などの iOS 機器には、VoiceOver（ボイスオーバー）という音声読み上げ機能（スクリーンリーダー）が搭載されています。タッチスクリーン上でのジェスチャーによって音声読み上げをコントロールします。

iOS 機器には、あらかじめ日本語音声合成エンジンもインストールされています。このため、パソコンの場合と違って、音声合成エンジンを別途インストールする必要はありません。iOS 機器 が手元があれば、音声読み上げ機能を即座に利用可能です。

ただし、初めての場合は晴眼の支援者に VoiceOver を起動してもらう方が無難です。次に方法を示します。

## 1. VoiceOver の起動

この手順は次の4ステップで行います。

- 手順1. ホーム画面で「設定」アイコンを一本指で押して、設定画面を開く
- 手順2. 「一般」を選び、その中の「アクセシビリティ」を選ぶ。「アクセシビリティ」は下の方にありますので、画面を上下に一本指で弾いて探して下さい。
- 手順3. アクセシビリティの設定画面で、「VoiceOver」を押して VoiceOver の設定画面を開く。一番上に VoiceOver の項目があるので、右側のオン/オフスイッチを押して、オンに切り替える。
- 手順4. VoiceOver が起動すると、音声読み上げが始まる。読み上げが始まらない場合は、マナーモードを切り替えたり、ボリュームを調整したりすると良いです。

## 2. VoiceOver の簡易 On/Off

iOS 機器を再起動する際などに、VoiceOver がオフになることがあります。いちいち支援者を読んで設定するのは面倒なので、ホームボタンのトリプルクリック（素早く3回連続でホームボタンを押す）で VoiceOver がオンになるような設定をすると良いです。音声を出したくない際にも便利です。

以下に手順を示します。この手順は次の4ステップで行います。

- 手順1. ホーム画面で「設定」アイコンを一本指で押して、設定画面を開きます。
- 手順2. 「一般」を選び、その中の「アクセシビリティ」を選びます。「アクセシビリティ」は下の方にありますので、画面を上下に一本指で弾いて探して下さい。
- 手順3. アクセシビリティの設定画面の中の一番下に「トリプルクリック」という項目があるので、その下の「ホームをトリプルクリック」を押す。
- 手順4. トリプルクリック設定で、「VoiceOver」の部分を押して、ここだけにチェックが入るようにします。これで設定は完了です。

## 3. iPhone の起動、スリープ解除、終了

### 1. 起動

iPhone を起動する際は、スリープボタンを長押しします。具体的には次の4ステップで行います。

- 手順1. ホームボタンが手前側に来るように、iPhone をテーブルに置きます。そして、上部側面右側のスリープボタンを約4秒間押しっぱなしにします（長押し）。約30秒待つと、「VoiceOver がオンです」と読み上げられます。
- 手順2. ホームボタンを押し込まないように人差し指を当て、上にゆっくりずらします。そうすると、「ロック解除」と読み上げられます。
- 手順3. その部分に人差し指を触れたまま（ホールド）、他の指で画面のどこかを押します（スプリットタップ、中指か親指で押すのがお勧め）。もしくは、その部分を人差

し指で素早く2回押します(ダブルタップ)。

手順4. 「ピヨッ」という音がした後、ホーム画面が表示されます。

## 2. スリープ解除

iPhoneの起動後に一定時間何も操作をしなかったり(初期状態は1分)、スリープボタンを押し込んですぐに放したりすると、待機状態(スリープモードまたはロック状態と言う)になります。この状態を解除しないと、利用できません。スリープの解除方法を次に示します。具体的には次の4ステップで行います。手順2~4はiPhoneの起動方法と同じです。

手順1. スリープ時に、ホームボタンまたはスリープボタンを押します。

手順2. ホームボタンを押し込まないように人差し指を当て、上にゆっくりずらします。そうすると、「ロック解除」と読み上げられます。

手順3. その部分の人差し指に触れたまま、他の指で画面のどこかを押します(中指か親指がお勧め)。もしくは、その部分の人差し指で素早く2回押します(ダブルタップ)。

手順4. 「ピヨッ」という音がした後、ホーム画面が表示されます。

## 3. 終了

次の4ステップで行います。

手順1. スリープボタンを約5秒間、長押しします。「電源オフ」と読み上げられたら、スリープボタンから指を離します。

手順2. 画面上端に人差し指を当て、下にゆっくりずらします。そうすると、「電源オフ」と読み上げられます。

手順3. その部分の人差し指に触れたまま、他の指で画面のどこかを押します(スプリットタップ)。もしくは、その部分の人差し指で素早く2回押します(ダブルタップ)。

手順4. 「クキッ」という音がした後、iPhoneが終了します。

## ワンポイント

iPhoneも他の携帯電話と同様に、待ち受け状態(スリープまたはロック状態)を基本にすると、電池が長持ちします。しばらく操作しないときは「スリープボタン」を押し込んですぐに放し、スリープモードにします。なお、VoiceOverを使用していると電池の持ちが悪くなります。1日1回の充電を心がけると良いでしょう。

## 4. iPhoneの初期画面

---

画面上部には、左側から、電波の状態、現在時刻、バッテリー残量が表示されています。その下に、4列4行に各種オブジェクト(アプリケーション)のアイコンが表示されています。カレンダー、写真、カメラ、設定等があります。その下に、ページ数の帯が配置されてい

ます。「ホームボタン」のすぐ上には、「電話」、「メール」、「safari」、「ミュージック」のアイコンが配置されています。

## 1. 画面全部を読み上げるには

人差し指と中指 2 本を画面にタッチし、上方向にスワイプします。スワイプとは、上方向に擦り上げます。

## 2. 1 項目ごとに読み上げさせるには

右または左に 1 本指でスワイプします。

オブジェクト(アプリケーション)を開くには、人差し指で探し、その位置で停止し、中指を画面にタッチします。この操作をスプリットタップと言います。または、人差し指で探し、その位置で停止し、その位置で人差し指をトントンとダブルタップしても同じことです。または、左右フリックし、任意の位置でダブルタップします。

## 5. VoiceOver を使いこなす上で、知っておきたいジェスチャー

### 1. 重要なジェスチャー

その 1 ページ全体を読み上げるには

2 本指で、上方向にスワイプします。

その 2 読み上げを停止するには

2 本指で、タップします。

その 3 現在位置から読み上げを開始するには

2 本指で、下方向にスワイプします。

その 4 読み上げ対象箇所を前後移動するには

左または右にスワイプします。見出し、段落、リンク、箇条書き、といった情報の「まとめり」単位で、読み上げ対象箇所を前後に移動することができます。

### 2. その他のジェスチャー

その 1 一時的に消音するには

3 本指で、ダブルタップします。もういちど、3 本指でダブルタップすると、消音状態が解除されます。

その 2 スクリーンカーテンを有効にする (画面を真っ暗にする)には

3 本指で、トリプルタップします。もういちど、3 本指でトリプルタップすると、画面が表示されます。

その 3 「ローター」機能

上記に加え iOS の VoiceOver には、「ローター」という便利機能が用意されています。VoiceOver がオン (起動状態) になっているときに、Safari の Web コンテンツ表示エリアで、2 本指でひねるジェスチャー (つまみを回すような感じで) をすると、ローターが表



示されます。

#### その4 ローターが表示されている状態で

続けて2本指でつまみを回すジェスチャーをすると、「見出し」「リンク」「フォームコントロール」「表」「ランドマーク」「読み上げ速度」「文字」「単語」「行」…といった具合に機能を切り替えることができます。切り替え選択された機能は、1本指で上下方向にスワイプすることによって、コントロールすることができます。

たとえば「読み上げ速度」を選択して上下にスワイプすると、音声読み上げスピードを速くしたり遅くしたりすることができます。それ以外の機能、たとえば「見出し」や「ランドマーク」を選択して上下にスワイプすると、前後の見出しやランドマークにジャンプすることができます。ちなみにここで言う「ランドマーク」とは、〈WAI-ARIA の Landmark Roles〉 のことです。

## 6. iPhone のジェスチャーの練習

---

今までの操作説明を使用して、実際に iPhone のジェスチャーの練習をしてみましょう。

- 手順1. 「ホームボタン」を押してホーム画面に戻ります。
- 手順2. 「設定」を人差し指で探し、スプリットタップまたはダブルタップします。「設定」アプリケーションが開きます。
- 手順3. 「一般」を人差し指で探し、スプリットタップまたはダブルタップします。「一般」アプリケーションが開きます。
- 手順4. 「アクセシビリティ」を人差し指で探し、スプリットタップまたはダブルタップします。「アクセシビリティ」アプリケーションが開きます。
- 手順5. 「VoiceOver」を人差し指で探し、スプリットタップまたはダブルタップします。「VoiceOver」アプリケーションが開きます。
- 手順6. 「VoiceOver の操作練習」を人差し指で探し、その位置で停止し、中指を画面にタッチまたはダブルタップします。「VoiceOver の操作練習」アプリケーションが開きます。

### ワンポイント1

「設定」→「一般」→「アクセシビリティ」は下の方にありスクロールが必要です。

★スクロールは三本指で上下フリックです。素早くフリックするとスクロールします。右フリックで「次」を繰返し「アクセシビリティ」を選択することもできます。

### ワンポイント2

ジェスチャーは、1本指から4本指で、シングルからトリプルまでのいろいろな操作があります。その操作の機能を説明してくれますので十分に練習して下さい。

- 手順7. 練習完了後には、右上の「完了」を人差し指で探し、スプリットタップまたはダ

ブルタップします。これで完了です。完了後は手順 5 の「VoiceOver」アプリケーション画面に戻ります。

## 7. 時計アプリの起動と設定

---

「時計」アプリでは、「世界時計」、「アラーム」、「ストップウォッチ」「タイマー」の機能を利用することができます。ここでは、タイマーの操作手順を説明します。設定した任意の時間が経ったら、好みの音で知らせるための操作です。

- 手順 1. 「ホームボタン」を押してホーム画面に戻ります。
- 手順 2. 「時計」をスプリットタップまたはダブルタップします。「時計」アプリケーションが開きます。
- 手順 3. 「ホームボタン」のすぐ上の左から、「世界時計」、「アラーム」、「ストップウォッチ」「タイマー」の中から、「タイマー」をスプリットタップまたはダブルタップします。これで「タイマー」が開きます。
- 手順 4. 右または左にフリックして、「何分」と読み上げるところで、上または下にフリックして、「1分」に設定します。
- 手順 5. タイマー終了時の音は、初期値はマリンバに設定してあります。(必要に応じて設定変更は可能です。)
- 手順 6. 「開始」をスプリットタップまたはダブルタップします。「タイマー」が作動します。
- 手順 7. 「1分」後にマリンバの音で、知らせます。音を止めるには画面中央部の「OK」ボタンを人差し指で探し、スプリットタップまたはダブルタップします。アラームが停止します。

## 8. Safari でインターネット

---

「Safari」とは、インターネットを見るためのいわゆる「ブラウザ」です。ボイスオーバーを使って操作するには、7.の練習で学習したもので十分操作することができます。

さて、ここでは Safari で覚えておきたい操作について説明します。その操作は、ウェブページをブックマークに登録する方法です。ブックマークとは、何度も訪れるウェブページのアドレス(URL)を記録しておく機能です。

- 手順 1. 「ホームボタン」を押してホーム画面に戻ります。
- 手順 2. 「Safari」をスプリットタップまたはダブルタップします。「Safari」アプリケーションが開きます。

- 手順3. 気になるページが見つかったら、ホームボタンの少し上を触ります。
- 手順4. 「戻る」や「進む」などと読み上げます。そこで画面を右にフリックしていき、「ユーティリティ」を見つけます。
- 手順5. 「ユーティリティ」が見つかったら、その位置でスプリットタップまたはダブルタップします。警告メッセージが表示されます。
- 手順6. 人差し指で右にフリックしていき「ブックマークに追加」をスプリットタップまたはダブルタップします。
- 手順7. 名前を入力ボックスが出てきます。ページのタイトルがそのテキストボックスに入っているの、人差し指で右や左にフリックしていき「保存」という項目を探します。
- 手順8. 項目が見つかったら、スプリットタップまたはダブルタップします。保存が完了します。

## 9. アプリケーションの検索

---

「App Store」アイコンを開いて、使いたいアプリケーションソフトを探し出し、iPhone本体にインストールすることができます。ここでは、「radiko」をインストールする方法について説明します。操作手順は、次の12ステップで行います。

- 手順1. 「ホームボタン」を押してホーム画面に戻ります。
- 手順2. 「App Store」をスプリットタップまたはダブルタップします。「App Store」アプリケーションが開きます。
- 手順3. 「ホームボタン」のすぐ上の左から、「おすすめ」、「ランキング」、「ジーニアス」、「検索」、「アップデート」の中から、「検索」をスプリットタップまたはダブルタップします。これで「検索」が開きます。
- 手順4. テキストボックスに文字が入力できる状態で、画面下の方にキーボードが表示されます。

### ワンポイント1

キーボードは、「日本語ローマ字」、「イングリッシュ」、「テンキー」があります。好みで選択してください。

パソコンのキーボードの配列が頭に入っている人は、「日本語ローマ字」、「イングリッシュ」キーボードで、スプリットタップをお勧めします。

### ワンポイント2

キーボードの切り替えは、下の方の左寄りに「次のキーボード」をスプリットタップまたはダブルタップします。

- 手順5. たとえば、テキストボックスに「radiko」と入力します。
- 手順6. 「サーチ」を人差し指で探し、スプリットタップまたはダブルタップします。「検索結果」が表示されます。
- 手順7. 「radiko」の検索結果が表示されたら、「無料」を人差し指で探し、スプリットタップまたはダブルタップします。
- 手順8. 「無料」というボタンの名前が「Appをインストール」に変わります。
- 手順9. 「Appをインストール」をスプリットタップまたはダブルタップします。
- 手順10. Apple IDパスワードを入力するためのテキストボックスが表示されます。
- 手順11. 画面下の方に表示されているキーボードでパスワードを入力後、「OK」ボタンをスプリットタップまたはダブルタップします。
- 手順12. インストールが完了しましたら、「開く」ボタンを読み上げます。

## **10. メールの送受信**

---

iPod touch や、iPhone、iPad（以下、まとめてiOSデバイスという）では、メールアカウントを設定することによって、どこでも、設定したメールアドレスで、メールの送受信ができます。メールの送受信を行うためには、使用するiOSに最初だけアカウントの設定をします。その後は、パソコンのメール操作と同様に、メールの送受信をする時にはメールを起動して、受信したメールを読む、作成したメールの送信を行うなどの任意の操作で使うことができます。

### **1.アカウントの設定**

- 手順1. ホーム画面から、「設定」をスプリットタップまたはダブルタップします。「設定」アプリケーションが開きます。
- 手順2. 「メール/連絡先/カレンダー」をスプリットタップまたはダブルタップします。「メール/連絡先/カレンダー」が開きます。
- 手順3. 「アカウントの追加」を探し、スプリットタップまたはダブルタップします。対応するアカウント（ヤフーメールを受信したいなら「ヤフーアカウント」）をスプリットタップまたはダブルタップします。対応するアカウントの設定画面が開きます。
- 手順4. 画面に従い、名前、メール、パスワードなどの必要事項を入力します（各アカウントにより必要事項が違います）。アカウントの追加を完了させます。
- 手順5. アカウントの追加を完了させた後は、署名や、メール受信の設定など、細かい設定をすることもできます。

### **2.メールを起動する**

メールは、ホーム画面のどのページでも、画面下の方に表示されています。

- 手順1. 「メール」に指を合わせ、スプリットタップまたはダブルタップします。
- 手順2. 「メール」アプリケーションが開きます。
- 手順3. メールの一覧の中から見たいメールを人差し指で探し、スプリットタップまたはダブルタップします。見たいメールが開きます。
- 手順4. なお、送信メールを見たい場合は、「メールボックス 戻る」をスプリットタップまたはダブルタップします。一度前画面に戻ってから、一覧の中から送信済みボックスを探します。ゴミ箱や、迷惑メールフォルダの中を見たい時も、同じ操作をすることで読むことができます。

### **3.受信メールの操作**

メールを起動した後、受信メールの一覧が表示されているとします。その時に、「未開封」と読み上げるものは、未読のメールを表しています。メールは、差出人、件名、メールを受信した簡単な日付、本文の一部の順番で読み上げられます。

その他、メールの詳細画面でできる機能について、次の手順で行います。

手順1. 一覧画面にて、対応のメールをスプリットタップまたはダブルタップして、メールの詳細画面を開きます。

手順2.

メールの詳細画面では、差出人や日付、件名や本文が縦に並び、本文の下に、左から、「メッセージをマーク」、「移動」、「削除」、「返信」、「新規作成」の順番で、メールの操作を行うためのボタンが並んでいます。各ボタンの操作を行うには、各ボタンをスプリットタップまたはダブルタップをして実行します。以下は、各ボタンの説明です。

#### **3.1 メッセージをマーク**

「メッセージをマーク」ボタンを実行すると、警告が表示されます。そのメールにたいして、フラグをつけるか、未開封のままにしておくのか、選択をすることができます。

#### **3.2 移動**

「移動」ボタンを実行すると、選択メールを受信ボックス以外のボックスに移動することができます。また、移動先によって、その後、同一の宛先から受信したメールに対するiOSの対応が変化します。

#### **3.3 削除**

「削除」ボタンを実行すると、詳細画面のメールはゴミ箱に移動します（設定によっては、確認メッセージが表示されます）。

また、受信メールの一覧画面にて、ローターを「アクション」に設定していた場合、メールに一度触れてから上下にスワイプすることによって、一覧画面からメールを直接ゴミ箱に送ることができます。

#### **3.4 返信**

「返信」ボタンを実行すると、警告が表示されます。メールに返信するのか、メールを転送するのか、印刷するのかを選択することができます。

返信と転送について、各ボタンを実行した後は、返信または転送するメール本文が表示されます。メール本文の最先頭にカーソルが表示されているので、画面下の方に表示されているキーボードで、そのまま本文を入力します。

### 3.5 新規作成

新規作成は、「4.メールの送信」を参照してください。

## 4.メールの送信

メールの送信画面は、「新規作成」や、「返信」・「転送」などの操作で出すことができます。メールの送信は、宛先と件名と本文を入力することによって、「送信」ボタンが押せるようになります。アイポッドタッチ4の場合、そのいずれかが未記入の場合、「送信」ボタンは無効の状態となるようです。

また、宛先はアドレス帳から入力することも可能です。宛先を複数指定したり、ccやbccを追加したりすることもできます。メールの本文の下の方には、初期設定されている署名または、あらかじめ設定しておいた署名がつねに書かれています。そして、返信や転送の場合は、それに加えて、元のメールの引用が入っています。

新規作成の操作は、次の9ステップの手順です。

- 手順1. 「新規作成」に指を合わせ、スプリットタップまたはダブルタップします。
- 手順2. 新規メッセージの画面が表示されます。
- 手順3. メール送信先を指定します。人差し指で右や左にフリックして、「宛先テキストフィールド」または「連絡先を追加」を探します。このどちらの操作でもメールの送信先を指定できます。
- 手順4. 「宛先テキストフィールド」では、送信先のメールアドレスを画面下の方に表示されているキーボードで入力します。「連絡先を追加」を実行する場合は、メールの送信先をアドレス帳からスプリットタップまたはダブルタップで選択して指定することができます。
- 手順5. 人差し指で右や左にフリックして「件名テキストフィールド」を探します。そこでスプリットタップまたはダブルタップ後に、件名をキーボード入力します。
- 手順6. 件名の入力後、画面下の方に表示されているキーボードの「改行」ボタンをスプリットタップまたはダブルタップします。
- 手順7. 「メッセージ本文」に文字を入力するためのカーソルが移動します。画面下の方に表示されているキーボードでメッセージ本文を入力します。
- 手順8. 人差し指で右や左にフリックして「送信」ボタンを探します。そこでスプリットタップまたはダブルタップします。
- 手順9. 送信完了後に、メールボックス画面に自動的に戻ります。

## 11. iOS で pdf ファイルを読む

---

iOS の「iBooks」というアプリケーションを使用すれば、テキスト形式で書かれた pdf ファイルを読むことができます。

ここでは、「iBooks」のインストール方法と、操作方法について説明します。

### 1. 「iBooks」のインストール方法

ホーム画面にある項目から「アップストア (App Store)」を選択します。

「アップストアの検索」と読み上げるところでスプリットタップまたはダブルタップします。テキストボックスがあらわれるので、そこに「iBooks」と入力し、画面右下のサーチボタンを選択します。検索結果の一番上に「iBooks」が現れるので、そこをスプリットタップまたはダブルタップします。

- 手順 1. 右に項目を一つずつフリックしていき、「インストール」と読み上げるところで、スプリットタップまたはダブルタップします。
- 手順 2. 「今すぐインストール」と読み上げられたら、スプリットタップまたはダブルタップします。
- 手順 3. Apple ID のパスワードを入力するためのテキストボックスが出てきます。それぞれ入力し、go ボタンを押します。
- 手順 4. インストールが開始されます。ネット環境次第ですが、概ね 5 ～ 10 分程度で終了します。

### 2. 「iBooks」の操作方法

- 手順 1. Safari で pdf ファイルを見つけます。
- 手順 2. 該当の pdf ファイル上で、ダブルタップしたまま、指を画面から離さずに 2、3 秒そのままの状態待ちます。
- 手順 3. しばらくすると、「ヒポポ」という効果音が聴こえてきます。この音が聴こえたら画面から指を離します。
- 手順 4. 警告メッセージが現れます。このメッセージは選択された pdf ファイルをどのよう に開くかということを知っています。今回は iBooks で開きたいので、画面を右にフリックしていき、「iBooks で開く」という項目をダブルタップします。
- 手順 5. iBooks が書類を読み込んだ状態で起動します。
- 手順 6. ファイルの内容を読み上げるには、右にフリックしていきます。

## 12. iCloud について

---

iCloud とは、アップルの iPhone、および Mac・Windows のパソコン間でインターネットを通してデータをやり取りする機能です。

この機能は、簡単な設定ですぐに開始させることができます。

ここから先は、iPhone とパソコンに分けて説明します。なお iPhone での設定は、iPad、および iPod でも共通です。

☆iCloud を使用するには Apple ID を取得しておくことが必須となります。

### 1. iPhone で iCloud を設定する

- 手順 1. ホーム画面にある項目から「設定」を選択します。
- 手順 2. 設定の画面の中にある「iCloud」を選択します。
- 手順 3. Apple ID とパスワードの入力ボックスがあらわれるので、それぞれ入力し、「サインイン」をクリックします。
- 手順 4. 「iCloud と結合しますか？」というメッセージが現れるので、「オーケー」を選択します。
- 手順 5. 「「iCloud」が位置情報を使用することを許可しますか？」というメッセージが現れます。これは個人の自由ですので、使用させる場合は「使用する」を、使用させない場合は「使用しない」を選択します。
- 手順 6. 同期させる項目をカスタマイズして選択する画面が現れます。各項目は、「メール」、「連絡先」、「カレンダー」、「リマインダー」、「サファリ」、「メモ」、「パスブック」、「フォトストリーム」、「書類とデータ」、「iPhone を探す」です。自分が同期させたい項目だけを選択するには、その項目が読み上げられたところで画面をダブルタップします。
- 手順 7. すべての設定が終わったら、iPhone での iCloud の設定は完了です。

### 2. パソコンで iCloud を設定する。

ここからは windows と mac について設定方法を説明します。

なお、パソコンで iCloud を利用するには、あらかじめ apple のホームページ

<http://www.apple.com/jp/>

から「itunes」をダウンロードしておかなければなりません。さらに、iPhone の時と同様に、Apple ID の取得が必須となります。

#### **windows での設定方法**

- 手順 1. apple の iCloud のページ



① <http://www.apple.com/jp/icloud/setup/pc.html>

② から Windows 用の iCloud のソフトをダウンロードし、インストールします。

手順 2. スタートメニューから、iCloud のコントロールパネルを開きます。

手順 3. Apple ID とパスワードの入力ボックスが出てくるので、それぞれ入力しエンターキーを押してログインします。

手順 4. iCloud で同期させたい項目をチェックボックスで選択する画面が現れるので、同期させたい項目をチェックします。項目は iPhone と同様です。

手順 5. すべての設定が終わったら iCloud の設定が終了です。

### mac での設定方法

手順 1. 画面左上の「アップルメニュー」をクリックします。

手順 2. 下矢印キーを押して「システム環境設定」を探し、見つかったらエンターキーを押します。

手順 3. タブキーを押して「iCloud」と読み上げるところまで移動し、「iCloud」でスペースキーを押します。

手順 4. Apple ID とパスワードの入力ボックスが出てくるので、それぞれ入力しエンターキーを押してログインします。

手順 5. iCloud で同期させたい項目をチェックボックスで選択する画面が現れるので、同期させたい項目をチェックします。項目は iPhone と同様です。

手順 6. チェックが終わったらコマンドキーとアルファベットの q を押して、デスクトップの画面に戻ります。以上で設定は終了です。